

(別紙)

対台湾輸出牛肉取扱要綱

(作成日) 平成29年9月22日

1 目的

この要綱は、台湾に輸出する牛肉（以下「対台湾輸出牛肉」という。）について、台湾の衛生当局が求める衛生証明書の発行手続等を定めるものである。

2 台湾に輸出可能な牛肉の要件

対台湾輸出牛肉は、以下の要件を遵守すること

- (1) 日本（福島県、茨城県、栃木県、群馬県及び千葉県を除く。）で出生・肥育された牛、又は台湾へ牛肉の輸出を許可されている国において出生し、かつ、日本で100日以上飼育されている牛の肉であること。
- (2) 生後30か月未満の牛の肉であること。
- (3) 以下の特定危険部位（Specific Risk Material（SRM））を含まないこと
 - ア 全月齢の回腸遠位部及び扁桃
 - イ 30か月齢超の頭部（皮、舌、ほほ肉、扁桃を除く。）、脊髄及び脊柱（背根神経節を含み、尾椎、頸椎横突起、胸椎横突起、腰椎横突起、頸椎棘突起、胸椎棘突起、腰椎棘突起、仙骨翼、正中仙骨稜及び尾椎は除く。）
- (4) 別添1に示す肉及び臓器を含まないこと。
- (5) と畜検査員の監視の下、と畜前後の検査に合格していること。と畜場法（昭和28年法律第114号）に従いと畜され、さらに、と畜検査員により以下の事項が確認されていること（ア及びウについては、これを証する書類を保管すること）。
 - ア 月齢、出生地及び肥育地等の情報
 - イ と畜の際に、高圧な空気やガスを頭蓋に注入する方式によるスタニングやワイヤーによる脳及び脊髄の破壊（ピッシング）が行われていないこと。
 - ウ とさつの経過において、特定危険部位（SRM）、機械的回収肉（Mechanically Recovered Meat（MRM）：肉の付着した骨を粉砕したのち、骨くずを除いて回収されたひき肉）、機械的に分離した肉（Mechanically Separated Meat（MSM））、頭蓋や脊柱から機械的に除去した肉（Advanced Mechanically Recovery（AMR））又は30か月齢以上の牛の部位が混入していないこと。
- (6) 台湾への牛肉の輸出が可能である別添3のと畜場及び当該と畜場に併設された食肉処理場（以下「認定と畜場等」という。）において、とさつ・解体から分割まで一貫して行われていること。

3 認定と畜場等の要件

認定と畜場等は、以下の要件を満たしていること。

- (1) と畜場法に基づく設置の許可又は食品衛生法（昭和22年法律第233号）に基

づく食肉処理業の営業許可を有し、と畜場法及び食品衛生法等の関係法規を遵守していること。

- (2) と畜場及び食肉処理施設は、H A C C P方式による衛生管理を実施していること。
- (3) 食肉処理場は、と畜場に併設され、とさつ・解体から分割まで一貫して行われていること。

4 対台湾輸出牛肉の食肉衛生証明書の発行手続きについて

- (1) 台湾に牛肉を輸出しようとする者は、認定と畜場等を管轄する食肉衛生検査所（食肉衛生検査所を設置していない場合は、と畜検査を実施している保健所。以下「証明書発行食肉検査所」という。）に別紙様式1の食肉衛生証明書の発行を申請する。なお、電子メールにより申請を行う場合にあっては、別添2によることとする。
- (2) 証明書発行食肉検査所は、証明しようとする牛肉が認定と畜場等で適切にとさつ、解体及び分割され、2に示す対台湾輸出牛肉の要件を満たすことが確認できたものについて食肉衛生証明書を発行する。
- (3) 食肉衛生証明書のと畜検査員の署名は、あらかじめ登録されたと畜検査員が行う。
- (4) 食肉衛生証明書の“Birthplace and country of raising of the cattle from which the beef is derived”の欄は、当該牛の出生国及び飼養国（例：Japan/Japan）を記載する。
- (5) 検査に合格した牛肉を認定と畜場等の外部の施設に搬出し保管を行う場合であって、食肉衛生証明書の発行時点で荷送人、荷受人又は仕向地が未定であるときには、食肉衛生証明書は該当欄に「×××」と記載し、再発行が必要である旨を明記して発行した上で、申請者からこれら記載事項の報告と併せて当該証明書が提出された後に、当該証明書と同日付けで食肉衛生証明書を再発行する。
- (6) 食肉衛生証明書は、公印及び契印を押印した原本及び副本を申請者に発行するとともに、原本の写しを証明書発行食肉検査所に保管する。
- (7) 申請者は、交付された食肉衛生証明書に対応する牛肉について、ロットの再構成や封印シールの開封等を行った場合には、速やかに当該証明書を返納するものとする。
- (8) 未記入の証明書様式については、不正等を防止する観点から、必要枚数をその都度申請者に渡し、記録するなど、都道府県等において、適切に管理する。
- (9) 発行した証明書及び関連書類は、証明書の発行の日から1年間保管する。

5 認定と畜場等の取消し等

- (1) 厚生労働省は、対台湾輸出牛肉及び認定と畜場等について、2又は3の要件への不適合が認められた場合は、当該施設を認定と畜場等から除外し、又は改善がなされるまで当該施設からの対台湾輸出牛肉に対する衛生証明書の発給を停止する。

- (2) 厚生労働省は、上記(1)の措置をとった際には、管轄する都道府県等を通じ、当該施設の設置者にその旨を通知するとともに、台湾政府へその旨通告を行う。
- (3) 上記の措置により、衛生証明書の発給を停止された施設について、設置者等がその原因を調査し、改善措置及び再発防止措置をとり、さらに、当該施設を管轄する都道府県知事等によって改善が確認された場合、都道府県知事等は、厚生労働省大臣官房生活衛生・食品安全審議官宛てにその内容を報告する。厚生労働省は、適切な改善措置及び予防措置が行われていると判断した場合、当該情報を台湾政府へ通知する。

6 表示事項

対台湾輸出牛肉の外装又は容器包装には別紙様式2の検査済証を添付すること。

7 その他の留意事項

食肉製品製造施設から牛肉製品を輸出する場合は、当該食肉製品製造施設は、台湾の衛生当局から輸出可能施設として認められ、認定と畜場等から受け入れた2の要件を満たす牛肉を用いて製品の製造を行う体制が整備されていること。衛生証明書の発行手順は、別途、厚生労働省と協議すること。

STANDARD FORM AUTHORIZED BY THE
 MINISTRY OF HEALTH, LABOUR AND WELFARE
 OF JAPAN

**HEALTH CERTIFICATE FOR EXPORT OF
 CHILLED/FROZEN BEEF AND BEEF PRODUCTS FROM JAPAN TO
 TAIWAN**

No. :
 DATE :
 (Month/Day/Year)

I. Identification of the products

(Species of origin)	(Name of products)
(Number of packages)	(Net weight of consignment)
(Consignor)	(Consignor Address)
(Consignee)	(Destination)

II. Origin of products

Name	Est. No.	Address
(Slaughterhouse)		
(Cutting/processing plant)		
(Others)		

Date of Slaughter : Date of Production :
 Birthplace and country of raising of the cattle from which the beef is derived :
 Container Number and Seal number: .. See the export quarantine certificate

I hereby certify that:

- 1) The beef or beef products were derived from cattle born and raised in Japan or from cattle born in a country deemed eligible by Taiwan to export beef and raised in Japan for at least 100 days prior to slaughter in Japan.
- 2) The beef or beef products derived from cattle less than 30 months of age.
- 3) The beef or beef products were derived from cattle that were slaughtered in meat establishment certified by the MHLW as eligible to export beef or beef products to Taiwan and that passed ante-mortem and post-mortem inspection under veterinary supervision at time of slaughter.
- 4) The beef or beef products were derived from cattle that were not subject to a stunning process, prior to slaughter, with a device injecting compressed air or gas into the cranial cavity, or to a pithing process.
- 5) The beef or beef products were produced and handled in a manner as to prevent contamination from SRMs, mechanically recovered meat (MRM) / mechanically separated meat (MSM), or advanced meat recovery (AMR) from the skull and vertebral column of cattle 30 months of age or over at the time of slaughter, in accordance with Japanese regulations.

Signature :

Name of meat inspector :

Official Title :

(Name of prefecture or city) :



JAPAN
INSPECTED
AND PASSED
BY LOCAL
AUTHORITY
DESIGNATED BY
MINISTRY OF
HEALTH,
LABOUR & WELFARE
EST.XX

(別紙様式3 食肉輸出計画書)

年 月 日

食肉衛生検査所長／保健所長 殿

申出者 住所
氏名 印
法人にあってはその所在地、名称、及び
代表者氏名

食肉輸出計画書

平成〇〇年度の食肉の輸出計画を下記のとおり提出いたします。

記

1. 担当者

部署名：

担当者氏名：

電話番号：

E-mailアドレス：

2. 輸出計画

輸出年月	輸出先国・地域	食肉の畜種	数重量

台湾へ輸出ができない肉及び臓器等	
1	牛肉のひき肉(骨なし、生鮮肉、冷蔵肉及び冷凍肉)
2	牛の食用肝臓(生鮮、冷蔵及び冷凍)
3	牛の食用眼球(生鮮、冷蔵及び冷凍)
4	牛の食用脳、脊髄及び頭蓋骨(生鮮、冷蔵及び冷凍)
5	牛の食用心臓及び肺(生鮮、冷蔵及び冷凍)
6	牛の食用腎臓及び脾臓(生鮮、冷蔵及び冷凍)
7	牛の食用膵臓及び子宮(生鮮、冷蔵及び冷凍)
8	牛の消化管(腸管及び直腸を含む)、その全体及び部分(生鮮、冷蔵又は冷凍)
9	牛の消化管(腸管及び直腸を含む)、その全体及び部分(塩漬、塩水漬、乾燥又は燻煙)
10	牛の胃、その全体及び部分(生鮮、冷蔵又は冷凍)
11	牛の胃、その全体及び部分(塩漬、塩水漬、乾燥及び燻煙)
12	牛の膀胱、その全体及び部分(生鮮、冷蔵又は冷凍)
13	牛の膀胱、その全体及び部分(塩漬、塩水漬、乾燥又は燻煙)
14	牛又は豚の調理済み又は保存食にした肝臓(冷凍、缶詰、その他)
15	牛の調理済み又は保存食にした内臓(心臓、肺、肝臓、大腸、小腸、脾臓、胃、腎臓、膵臓、膀胱、子宮を含む)(冷凍、缶詰、その他)
16	牛の調理済み又は保存食にした眼球、脊髄、頭蓋骨(冷凍、缶詰、その他)

電子メールによる食肉衛生証明書の発行申請手続

1 輸出計画書の提出

食肉を輸出しようとする者（以下「輸出者」という。）は、別紙様式3に必要事項を記入の上、以下により年度内の輸出計画書を、書面にて選定と畜場等を管轄する食肉衛生検査所長又は保健所長あてに提出すること。

- (1) 輸出計画は、前年度の輸出実績、当該年度の事業計画などを踏まえ、提出時点で作成可能な内容を記載すること。
- (2) 一つの輸出計画書に、同一の食肉衛生検査所又は保健所で食肉衛生証明書を発行する他の輸出先国・地域向けの輸出計画を併せて記載して差し支えない。
- (3) 輸出先国・地域や輸出する食肉の畜種に追加が生じた場合は、同様式により輸出計画の変更を届け出ること。なお、輸出年月及び数重量に変更が生じた場合にあっては、変更の届出は要しない。

2 食肉衛生証明書の発行申請

輸出者は、食肉を輸出しようとする都度、食肉衛生証明書の発行申請に必要な書類を電子メールに添付し、管轄の食肉衛生検査所又は保健所あてに送付すること（その際、発行申請書への代表者印等の押印は要しない。）。なお、1の輸出計画書を予め提出していない輸出先国・地域又は畜種の輸出を行う場合にあっては、必要な書類を郵送等により提出すること。

また、発行申請に当たっては、以下の事項に留意すること。

- (1) 申請に利用する情報システムについて、セキュリティ対策に努めること。
- (2) 食肉衛生証明書は、従来どおり書面による交付となることから、受取方法について証明書発行機関とあらかじめ調整すること。

別添 3

日本牛肉及其相關產品核准輸臺指定設施名單
The list of Japan beef products establishments for exporting to Taiwan

序號 Ref.	製造廠代碼 Establishment No.	工廠名稱 Establishment Name	工廠地址 Site Address
1	HO-1	HOKKAIDO LIVESTOCK CORPORATION DOO PLANT HAYAKITA FACTORY HAYAKITA MEAT DISTRIBUTION CENTER	695, Toasa, Abira-cho, Yuufutu-gun, Hokkaido
		HOKKAIDO LIVESTOCK CORPORATION DOO PLANT HAYAKITA FACTORY	
2	HO-2	HOKKAIDO LIVESTOCK CORPORATION KITAMI PLANT KITAMI DISTRICT GENERAL MEAT DISTRIBUTION CENTER	72-1, Chigusa Higasimokoto, Ohzora-cho, Abasiri-gun, Hokkaido
3	HO-3	HOKKAIDO LIVESTOCK CORPORATION DOTO PLANT TOKACHI FACTORY TOKACHI GENERAL MEAT DISTRIBUTION CENTER	1-1, Kita2-chome, Nishi24-jo, Obihiro, Hokkaido
4	AC-1	HOKKAIDO LIVESTOCK CORPORATION DOO PLANT KAMIKAWA FACTORY KAMIKAWA GENERAL MEAT DISTRIBUTION CENTER	6Sen-12Gou, Higasitakasu, Asahikawa-Shi, Hokkaido
		HOKKAIDO LIVESTOCK	

		CORPORATION DOO PLANT KAMIKAWA FACTORY	
5	I-1	Iwate Chikusan Ryutsu Center Co.,Ltd.	120 Minamiyachi, Inubuchi, Shiwa-cho, Shiwa-gun, Iwate
6	AKC-1	Akita Prefecture Meat Processing Center	2-1 Dosaka Jinnai Kawabe, Akita city, Akita, Japan
		AKITA Meat Public Service Co.,Ltd	
7	山形県 1 0 (Yamagata prefecture 10)	YAMAGATAKEN SOGO SHOKUNIKU RYUTU CENTER	Yamagata Prefecture Yamagata-city, oaza Nakano aza Matoba 936
	P-2	YAMAGATAKEN SHOKUNIKUKOSHA CO.,LTD	
8	山形県 4 (Yamagata prefecture 4)	Yonezawa shiei tochikujo	5379-15, Katako, Banseicho, Yonezawa-City, Yamagata Prefecture
9	SA-1	Wakou Meat Center	6-9-20, Shimoniikura, Wakou-shi, Saitama-ken
		AGRIS-ONE Corporation Wakou Meat Center Meat Processing Room	
10	KOC-1	Koshigaya Meat Center	1-12 Mashimori, Koshigaya-city, Saitama
		IH Meat Packer Co., Ltd. Tokyo Meat Center	1-20-1, Mashimori, Koshigaya-city, Saitama
11	YN-1	Yamanashi Meat Logistic Center Corporation	1028 Karakashiwa, Isawa-cho, Fuefuki- shi, Yamanashi
12	GI-1	Hida Meat Center	327 Youka-machi, Takayama-shi, Gifu
		Hida Meat Agricultural Cooperatives	
13	S-1	Shiga Meat Center	1089-4 Chokojicho, Omihachiman city, Shiga
14	HMJ-1	Wagyu Master Meat Center	1451-5, Togo-cho, Himeji City, Hyogo

			Prefecture
15	KOBE-1	Kobe City Meat Center	7-1-20 Karumo-dori Nagata-Ku Kobe City, Hyogo Prefecture
		K.P.C.	
16	TOKU-1	Tokushima City Meat Center	3-1724-2 Fudohon-cho, Tokushimacity, Tokushima
		FUJIMITSUHASEGAWA Co., Ltd.	
17	TOKU-2	NISHIAWA BEEF LTD.	Ashiro 890-3, Higashimiyoshi-cho, Miyoshi- gun, Tokushima
18	FC-1	Fukuoka City Central Wholesale Market Meat Market	2-85-14 Higashihama, Higashi-ku, Fukuoka City, Fukuoka
19	NG-1	Nippon Food Packers Inc. Isahaya Plant	79-23 Saiwai-machi, Isahaya City, Nagasaki, Japan
20	OI-1	OITAKEN CHIKUSANKOSYA CO.,LTD	1580-29 Tahara, Inukaimachi, Bungoono city, Oita Prefecture, Japan
21	KU-2	Kumamoto Chikusan Ryutsu Center Co.Ltd	9 Hayashibaru, Shichijyo-machi, Kikuchi-shi, Kumamoto
22	M-1	MIYACHIKU Corp.,Ltd. Takasaki Plant	4268-1, Omuta, Takasaki-Cho, Miyakonojyo- Shi, Miyazaki
23	M-2	Miyachiku Corp., Ltd. Tsuno Plant	15530, Kawakita, Tsuno-Cho, Koyu-gun, Miyazaki
24	M-3	Sankyo Meat Co., Ltd. Kirishima Meat Plant	2523, Hosono, Kobayashi-shi, Miyazaki
			2516, Hosono, Kobayashi-shi, Miyazaki
25	K-1	NANCHIKU CO., LTD.	1828, Ninokata, Sueyoshi-cho, Soo-shi, Kagoshima
26	K-2	Sankyo Meat Ltd. Ariake Meat Plant	6965, Noikura, Ariake-cho, Shibushi-Shi,

			Kagoshima
27	K-3	Akune Meat Distribution Center Co., Ltd.	10 1-chome, Shiohama-cho, Akune-shi, Kagoshima
		STARZEN MEAT PROCESSOR Co., Ltd. Akune Plant	
28	K-4	JA Shokuniku Kagoshima Co., Ltd. Nansatu Plant	22361 Minamibepu, Chiran-cho, Minamikyushu- shi, Kagoshima
29	K-9	Okuchi Establishment Japan Farm Co. Ltd.	519, Miyahito, Okuchi, Isa, Kagoshima
		Nippon Food Packer Kagoshima Co., Inc.	